

平成24年度 事業報告

第1 公益目的事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学的研究及びその指導法並びに作詩法の研究指導機関としての役割を全うするために、広く吟道指導者を育成指導し、不特定多数の者に吟道の普及振興を図ることを目的として、以下の公益目的事業を行った。

1 吟道に関する研修会、講習会及び大会の開催

一 研修会・講習会

(1) 日本吟道夏季大学講座

詩歌吟詠法と作詩の理論と実技の指導のため、次のとおり日本吟道夏季大学講座を開催した。

平成24年8月25日(土)及び26日(日)の2日間

埼玉県川口市 草加市文化会館において

参加人員 938名

(2) 吟行研修会

詩歌吟詠に関する史跡を見学し情操を深め、かつ詩歌吟詠法の研究に資するため、次のとおり吟行研修会を開催した。

平成24年10月20日(土)～22日(月)の2泊3日

福島県会津若松を中心として

参加人員 204名

(3) 伴奏講習会

詩歌吟詠法の実技向上に資するため、伴奏講習会を行った。

①キーボード上級

1)平成24年9月9日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において

2)平成24年10月8日(祝) 同上

3)平成24年11月18日(日) 同上

4)平成24年12月9日(日) 同上

②キーボード中級

1)平成24年7月8日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において

2)平成24年7月22日(日) 同上

3)平成24年8月5日(日) 同上

4)平成24年8月18日(土) 同上

③コンダクター初級

A)ー1. 平成24年4月29日(祝) 東京都文京区 日本吟道会館において

ー2. 平成24年5月13日(日) 同上

B)ー1. 平成24年6月10日(日) 同上

ー2. 平成24年6月17日(日) 同上

④コンダクター中級

1)平成24年9月15日(土) 東京都文京区 日本吟道会館において

2)平成24年9月29日(土) 同上

参加人員 延・142名

⑤地区講習会

1) 西部九州地区伴奏講習会

平成24年7月29日(日) 長崎県佐世保市 三川内地区公民館において

2) 三重地区伴奏講習会

平成24年9月23日(日) 三重県鈴鹿市 加佐登公民館において

以上、参加人員 延・70名

(4) 地区吟道一般講習会

詩歌吟詠に関する研鑽を深め、広く吟道を普及するため、次の地区において講習会を行った。

①北海道地区

平成24年5月13日(日) 北海道北広島市 北広島文化センターにおいて

②東北地区

平成24年5月13日(日) 福島県福島市 労金ビルにおいて

③北関東地区

平成24年8月5日(日) 群馬県前橋市 第二コミュニティセンターにおいて

④北陸地区

平成24年11月11日(日) 富山県射水市 大門総合センターにおいて

⑤三重地区

平成24年6月3日(日) 三重県鈴鹿市 農村環境改善センターにおいて

⑥静岡地区

平成24年10月28日(日) 静岡県浜松市 なゆた浜北生涯学習センター
において

⑦中部地区

平成24年10月28日(日) 岐阜県高山市 高山市民文化会館において

⑧関西・中国・四国地区

平成24年11月11日(日) 鳥取県米子市 皆生グランドホテル天水において

⑨西部九州地区

平成24年6月17日(日) 長崎県諫早市 本野ふれあい会館において

⑩東部九州地区

平成24年11月4日(日) 福岡県北九州市 下蒲生公民館において

⑪南部九州地区

1)平成24年4月22日(日) 鹿児島県鹿児島市 縣市町村自治会館において

2)平成24年7月8日(日) 宮崎県宮崎市 神宮東公民館において

⑫中国安徽吟道会

平成24年12月13日(木) 安徽省合肥市において

⑬中国上海書画吟道会

平成24年12月14日(金) 上海市において

以上、参加人員 延・952名

(5) 指導者育成推進講習会

吟道を広く普及するため、詩歌吟詠の指導者の育成とその指導力を強化することを

目的として、全国各地で研修を行った。

①北海道地区

平成24年9月30日(日) 北海道苫小牧市 アイビープラザにおいて

②東北地区

平成24年10月28日(日) 秋田県湯沢市 広域交流センターにおいて

③北関東地区

平成25年2月3日(日)

群馬県前橋市 第二コミュニティセンターにおいて

④南関東地区

1)平成24年10月14日(日) 東京都渋谷区 文化総合センター大和田において

2)平成25年2月24日(日) 東京都港区 機械振興会館において

⑤北陸地区

平成24年9月9日(日) 富山県射水市 大門総合会館において

⑥中部地区

平成24年7月22日(日) 愛知県安城市 昭林公民館において

⑦三重地区

平成24年11月4日(日) 三重県鈴鹿市 労働福社会館において

⑧西部九州地区

平成24年12月2日(日) 長崎県長与町 ふれあいセンターにおいて

⑨東部九州地区

平成24年5月27日(日) 福岡県北九州市 生涯学習センターにおいて

⑩南部九州地区 187名

1)平成24年10月14日(日) 鹿児島県鹿児島市 縣市町村自治会館において

2)平成25年2月10日(日) 宮崎県宮崎市 神宮東公民館において

以上、参加人員 延・953名

(6) 普及振興懇談会

女性による吟道の普及振興を促進するため懇談会を行い、実際の活動状況、問題点、新しい方策等について意見を交換した。

平成24年7月29日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において

参加人員 40名

(7) 日本吟道吟士権者特別錬成会

吟詠法の研究及び吟士権者の質的向上を図るため、吟士権者を対象として、第3回特別錬成会を行った。

平成25年2月16日(土) 東京都文京区 日本吟道会館において

及び17日(日) 参加人員 42名

(8) 中国国際詩歌節への参加

中国安徽省馬鞍山市の主催する国際詩歌節の詩吟大会に参加し、中国の漢詩のふるさと、中国の史跡を訪ねて漢詩のより深い理解に努めるとともに、日中友好を図った。

平成24年10月23日～28日 参加人員 8名

二 吟道に関する大会の開催

日頃の吟道精進の成果を披露し、他の人の吟詠を聞いて参考とし、更に広く一般の人々の吟詠に関する関心を高めることにより吟道の普及に資するため、下記の諸大会を開催した。

(1) 日本吟道全国大会

次のとおり日本吟道全国大会を行った。

①第61回日本吟道全国大会

平成24年5月20日(日) 千葉県松戸市 森のホール21において
参加人員 2,226名

②第62回日本吟道全国大会

平成24年10月21日(日) 福島県会津若松市 會津風雅堂において
参加人員 739名

(2) 日本吟道壮心全国大会

65歳以上を対象に、次のとおり第32回日本吟道壮心全国大会を行った。

平成24年9月2日(日) 東京都江戸川区 小松川さくらホール
において
参加人員 148名

(3) 日本吟道青少年全国大会

幼少年及び青年を対象に、次のとおり第48回日本吟道青少年全国大会を行った。

平成25年3月17日(日) 東京都豊島区南大塚ホール
参加人員 123名

(4) 日本吟道女流全国大会

女性の吟道普及を図るため、女子を対象に第15回日本吟道女流全国大会を行った。

平成24年6月24日(日) 東京都江戸川区 タワーホール船堀において
参加人員 748名

(5) 日本吟道名吟大会

レベルの高い会員及び会員外の吟詠家を招いて、会員の吟詠力の向上に資すると共に、一般の人々に対する吟詠の普及を図るため、第16回日本吟道名吟大会を行った。なお、この大会に併せて、平成24年度吟士権者選抜の決選大会を行った。

平成24年12月2日(日) 東京都練馬区 練馬文化センター大ホール
において
参加人員 1,232名

(6) 日本吟道吟士権者選抜予選会及び決選会

詩歌吟詠の吟技の向上を通じて優れた指導者を育成するため、吟士権者を選抜する予選会及び決選会を次のとおり行った。

①第1次予選会

平成24年4月15日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において
平成24年5月27日(日) 同上

平成24年7月1日(日)

同上

②第2次予選会

平成24年9月16日(日) 東京都文京区 求道会館ホールにおいて

③決選会

平成24年12月2日(日) 東京都練馬区 練馬文化センター大ホール
において

以上、参加人員 延・562名

(7) 北米さくら祭り詩吟大会

アメリカ・サンフランシスコで開催される『さくら祭り』の詩吟大会に参加し、
日米友好を図った。

平成24年4月13日(金)～19日(木)

参加人員 26名

2 吟道に関する普及活動への支援

吟道の普及活動を行うに当り、全体的に活性化された活動が行われるよう、人的、
財政的支援を行った。

一 各地区連合会等及び公認団体の吟道大会の支援

各地区における吟詠活動を推進するため、各地区の連合会等及び公認団体の周年
行事に際して、本部からの指導者の派遣及び大会経費の一部助成等の支援を行った。

二 女性吟道振興事業の推進

吟道を振興するため、女性吟道振興委員会の活動を支援するとともに、日本吟道
女流全国大会などについても支援した。

三 公益活動推進事業

公認団体代表者の意欲向上と、それを援ける志高き推進リーダーの育成と確保を目
指し、各地区の公認団体をグループ分けし、グループ毎に勉強会を開催した。

四 各地の敬老会、養護施設、学校その他への慰問・指導

3 吟道に関する調査研究及び広報事業

本学院は、各種詩歌等の吟詠法に関する科学的研究及びその指導法並びに作詩法の
研究・指導機関として、「新世紀における吟詠研究会」を中心とした研究活動を行う
とともに、その成果等については広報誌等を通じて公表した。

一 吟道に関する調査研究

(1) 詩歌吟詠法及び作詩法に関する研究会

①新世紀の詩歌吟詠法及び作詩法に関し、吟詠研究会を行った。

1)平成24年6月3日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において

2)平成24年9月23日(日) 同上

3)平成24年12月23日(祝) 同上

4)平成24年3月10日(日) 同上

参加人員延 135名

②その他の調査研究

その他、必要に応じて随時調査研究会を行った。

(2) 広報事業

不特定多数の人に吟詠を普及するため、吟道に関する各種資料、調査研究の成果等を公表するため、次の広報事業を行った。

- ① 広報誌「日本吟道」の刊行
- ② 詩歌吟詠に関する出版物の刊行
- ③ ホームページによる広報活動
- ④ その他、マスコミ、公共団体等を活用した広報活動

第2 収益事業等

公益目的事業を補完し、これを積極的に推進するため、次の収益事業及び共益事業を行った。

1 収益事業

一 段級位、伝位及び師範位の認定

- (1) 吟詠の技術の向上に伴い、段級位、伝位の認定を行った。
- (2) 指導技術の向上に伴い、師範位の認定を行った。

二 吟道に関する教本及び教材並びに物品等の販売

2 共益事業

主として本学院の会員を対象とする次の事業を行った。

一 功労者の顕彰及び表彰

- (1) 吟道発展に寄与し、特に功労顕著な者に、冠称を贈り顕彰した。
- (2) 吟道普及に功績のあった認可団体の代表者に対して感謝状を贈り表彰した。
- (3) 吟道普及に功績のあった会員を褒賞した。
- (4) 吟道普及に功績のあった認可団体を表彰した。
- (5) 永年にわたり吟道を研鑽した高齢者を表彰した。
- (6) その他、随時、吟道普及に功績のあった会員を表彰した。

二 正会員吟道大会

正会員を対象として、定時総会開催時に第45回正会員吟道大会を開催した。
平成24年6月9日(土) 東京都豊島区 アカデミーホールにおいて
参加人員 97名

三 新春賀詞交歓会

平成25年1月13日(日) 東京都文京区 日本吟道会館において
参加人員 111名

3 その他、目的を達成するために必要な事業

一 記録の制作と保存

本学院の事業等に関する吟詠等を記録及び保存した。

二 (財) 日本吟剣詩舞振興会主催の全国吟詠コンクールに参加した。

平成24年11月11日(日) 東京都千代田区 日本武道館において

三 茨城放送主催の吟詠合吟コンクールに参加した。

平成24年4月8日(日) 茨城県ひたちなか市 ひたちなか市文化会館
大ホールにおいて

四 その他、目的を達成するために必要な事業を行った。